

趣意書

2018/08/16

Gerla & Wayneを支える会・荒川博行神父
〒123-0851東京都足立区梅田7-19-22 カトリック梅田教会

+Pax ad bonum

早速ですが、「Gerla & Wayneを支える会(宗教法人カトリック東京教区梅田教会信徒有志)」は、滞在許可が切れてオーバーステイ状態にあるゲルラ・大塚・ペナルビアさん(43)と娘のウェイン・レスレイ・クリゾストモ・ペナルビアさん(17・都立足立高校定時制3年)が法務省東京入国管理局から特別在留許可を得て日本で平和な暮らしができるように署名をお願いしています。

ゲルラさんは2006年に来日し、2010年に日本人男性と結婚しました。しかし2015年に二人の娘をフィリピンから呼び寄せたのち、別居となりました。一人は姉のウェインですが、もう一人の娘アージー・クリゾストモ・ペナルビアさんです。彼女は足立区の淵江小学校を卒業し花畑中学校に入学して多くの友人に囲まれていました。しかし2016年、中一の途中に左大腿骨骨肉腫とわかり手術しましたが、転移が広がり2017年には脊髄のガンを取り除き金属で固定する手術も受けました。そして先月2018年7月30日に肺に転移したガンでなくなりました。この間に無責任な態度を取り続けて離婚手続きを取らなかった日本人男性は結局葬儀に現れることもありませんでした。

この男性と別居して以来、母親のゲルラさんは生活保護を足立区に申請していましたが、今年の3月15日から入国管理局が配偶者ビザの更新を認めずオーバーステイ扱いにしたことから、足立区は生活保護の取り消しと戸籍から抹消し、葬儀費用の負担を拒否しました。このため死亡場所である駒込病院がある文京区の負担が一度は決定しますが、文京区指定葬儀業者が仏教しか引き受けないので葬儀時のカンパでカトリックのお母さんが支払い費用を用立てました。入国管理局はゲルラさんに労働することを禁じているために、現在はカトリック梅田教会信徒有志によって生活をかろうじて支えている状況です。ゲルラさんは足立区の食品工場などで働いて所得税も消費税も払い、日本の暮らしが十年を過ぎています。なおかつ収入が立たれて支払い期限を過ぎたアパートの立ち退きを迫られ、七月の炎天下に荷物を一人で自転車に乗って運び出さざるをえず、病室でガンの娘の最後を十分に母親として寄り添えませんでした。一方、昼はホテルのベッドメイキングで仕事をしながら足立区の夜間高校に通うウェインさんは日本が生活の場所です。現在は法務省東京入国管理局からの呼び出しと決定を待機している状態にいます。そこでこの二人が国外退去にならないよう、東京入国管理局の寛大な措置を署名を持ってお願いすることにになりました。賛同いただける方のご署名が一人でも多いことを願ってお願い申し上げます。なお署名住所に「同上」「〃」は無効になります。ご面倒ですが、それぞれご住所をお書きください。

連絡先：〒123-0851東京都足立区梅田7-19-22 カトリック梅田教会

Gerla & Wayneを支える会 荒川博行神父

tel. 03-3880-4718 / fax. 03-3880-2021 / email: josephumeda@mac.com